

## 膀胱炎 について

膀胱炎は外部から、大腸菌などの腸内細菌が膀胱内に入り込み、炎症を起こします。排尿時痛、頻尿、残尿感、血尿、尿混濁、下腹部痛など、さまざまな症状がおきます。

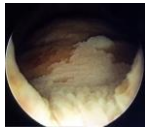
**検査** 尿顕微鏡検査 尿培養検査 薬剤感受性試験 腎臓膀胱超音波検査

### 治療 ※広域スペクトル抗生剤の内服

ほとんどの方が内服翌日には、症状改善してきますが、薬剤抵抗性の細菌感染の場合、種類目の薬剤では効果なく、感受性試験結果を参考に効果ある薬への変更が必要になります。

### ※膀胱炎を繰り返し、すっきりしない方

尿検査が正常でも、内視鏡検査では、膀胱三角部粘膜に浮腫状変化が生じていることが



があります。慌てず、ゆっくり直すことが必要です。

抗生剤の追加投与は薬剤耐性菌感染をおこしたり、カンジダ膣炎を引き起こすことがあります。必要に応じて追加処方します。

多少、頻尿かも知れませんが、お茶(カテキン効果)の十分な摂取利尿効果をはかり、膀胱の刺激緩和として過活動膀胱の薬、漢方薬を使用いたします。

### ※御年輩の方へ

膀胱炎治療後は、必ず、もう一度、尿検査をお勧めします。

お若い方と異なり、膀胱腫瘍を基礎疾患に炎症を起こすことがあり、注意が必要です



ももたろう 腎泌尿器科クリニック

## PSA 上昇 について

PSA は前立腺がんの発見に有用な血液腫瘍マーカーです。

前立腺特異抗原の英語頭文字をとって PSA といいます。

4ng/ml 以下を正常値とし、4~10ng/ml の値を gray zone と呼びます。

なぜならば、その約20%に前立腺がんが潜んでいるからです。

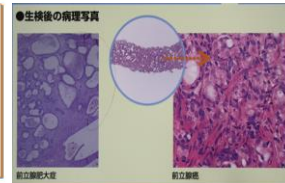
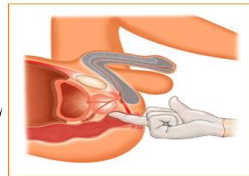
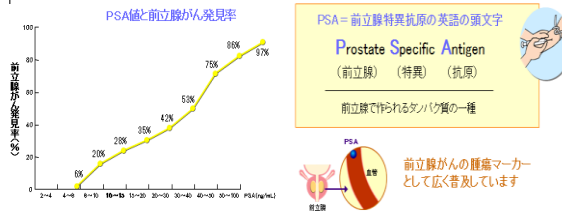
しかし、前立腺肥大症、前立腺炎、射精、自転車の影響を受け、がんなしでも上昇することがあり、鑑別が必要です。

また、PSA 上昇傾向でない場合、超高齢の場合、既存疾患治療中の場合などは経過観察をお勧めすることもあります。

直腸診、経直腸超音波検査、PSA での疑いがある場合は前立腺生検

にての確定診断が必要になります。

当クリニックでは、よく相談の上、日帰りでの生検検査をしております。



## 尿路上皮がん について

腎臓尿管膀胱は移行上皮という粘膜に覆われており、そこから発生する腫瘍を尿路上皮がんといいます。

腎腫瘍 腎盂腫瘍 尿管腫瘍 膀胱腫瘍など

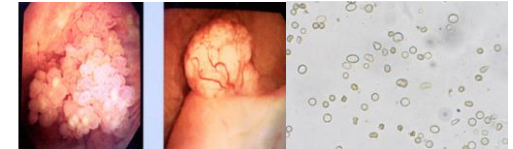
痛みが出ないことが多く、血尿のみが症状のため放置してしまう方がいらっしゃいます。また、高齢者の方々の膀胱炎の基礎疾患のことがあり注意が必要です。

**検査** 尿検査 超音波検査 CT

尿細胞診 膀胱内視鏡検査

膀胱腫瘍

尿検査 赤血球



腎臓超音波検査 腎腫瘍 (こぶ状の部分)



腫瘍が疑われる際には高次医療機関へ、ご紹介させていただきます。

ももたろう 腎泌尿器科クリニック

## 精索静脈瘤 について

精巣を栄養した血液が戻る内精静脈の還流が不良となり、瘤が発生し、痛みを感じます。

原因は不明です。

合併症として、精子運動率低下による男性不妊症があり、挙児を検討中の方は、精液検査をお勧めします。

検査 ※超音波カラードプラー法で血流を測定します。 ※触診視診

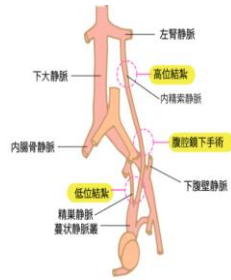
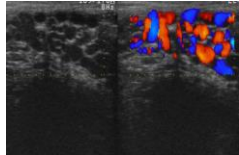
治療の必要性は、疼痛症状の程度、精液所見などで検討します。

鎮痛剤 陰部疼痛に内服しますが、頓服です。

漢方薬 桂枝茯苓丸(ケイシブクリョウガン)

もともと、めまい、のぼせ、腹痛をよくするといわれている漢方薬ですが、最近、静脈瘤に効果があることが、わかりました。

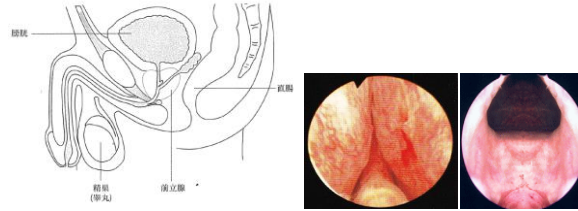
手術 血流を遮断します。遮断後の血流は毛細血管を通じて還流します。



精液検査は当院にて顕微鏡検査後(当日御説明)、外注検査に委託し、ダブルチェックいたします。ただし、データ不良の際には、少なくとも2回の検査が推奨されています。

(日本不妊学会より)

## 前立腺肥大症 について



前立腺は精液を作っています。加齢とともに、肥大し、尿道を締め付けるため、

※尿の勢いが悪くなり、時間がかかる ※尿回数が増える

※残尿感がある ※ちよいと漏れる(きれが悪い) ※我慢できず漏れてしまう

- 検査 ①尿検査 ②前立腺の形、大きさを超音波検査  
③残尿測定 ④前立腺を肛門から触診  
⑤前立腺がんとの鑑別が必要なため 血液検査 PSA

### 処方薬

フリバス(旭化成) ユリーフ(キッセイ薬品) ザルティア(日本新薬) アポルブ(大鵬薬品)

エビプロスタット(日本新薬) セルニルトン(扶桑)

頻尿の際には ウリトス(杏林薬品) ベタニス(アステラス薬品) ベシケア(アステラス)などを併用します。 約2週間内服して頂き内服効果を観察します。

効果があれば、基本的に内服加療を継続します。



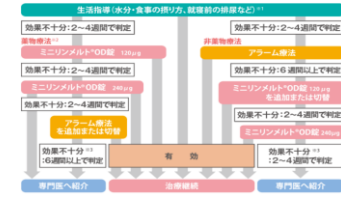
## 夜尿症 おねしょ について



幼稚園児のおねしょは、おかしくありませんが、小学生が1週間に何度も、おねしょをしてしまうと多量と、医療介入が検討されます。

原因を探るため、①夜間の尿量と②我慢したときの膀胱尿量測定が必要です。

夜間多原型 または 膀胱容量減少型 を判断し、尿検査、尿比重、腎臓膀胱超音波検査を行い、生活食事指導、膀胱訓練、薬物治療を取り入れていきます。



※生活指導は治療開始を前提として実施する  
※夜間尿量測定は起床時尿量測定と夜間尿量測定を併用して実施する  
※膀胱容量測定は、膀胱容量測定とアラーム療法併用による膀胱容量測定を実施する

ももたろう 腎泌尿器科クリニック



## 女性の頻尿 について



**原因として** ※膀胱炎 ※加齢による膀胱容量減少 ※水分の摂取過剰  
 ※膀胱が過敏(過活動膀胱) ※薬剤の副作用による残尿  
 夜間頻尿の方は ※高血圧 糖尿病 腎機能障害 ※不眠症  
 ※心臓機能低下(下肢浮腫)の可能性もあります。

**検査** ①尿検査 ②常用薬の確認 ③腎臓超音波検査  
 ④残尿測定(超音波) ⑤血液検査(糖尿病 腎臓機能 BNP)  
 ⑥水分摂取量と排尿日誌(おしっこの家計簿) ⑦過活動膀胱問診票

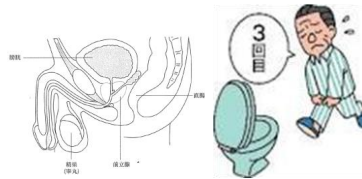


**治療** 上記内容を確認したあと、 抗生剤、 膀胱過敏改善の抗コリン剤、  
 水分摂取に関する指導、 高血圧糖尿病の改善、 利尿剤処方、  
 下肢拳上、 フットマッサージ、 干渉低周波(ウロマスター)  
 を検討させていただきます。

ももたろう腎泌尿器科クリニック



## 男性の頻尿について



**原因** ※前立腺肥大症 ※加齢による膀胱容量減少 ※水分の摂取過剰  
 ※膀胱が過敏(過活動膀胱) ※薬剤の副作用による残尿  
 夜間頻尿の方は ※高血圧 糖尿病 腎機能障害 ※不眠症  
 ※心臓機能低下(下肢浮腫)の可能性もあります。

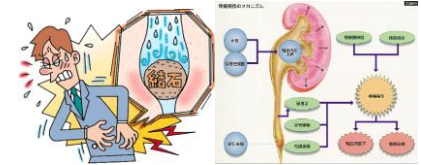
**検査** ①尿検査 ②常用薬の確認 ③腎臓前立腺超音波検査  
 ④尿流量測定 残尿測定(超音波)  
 ⑤血液検査(糖尿病 腎臓機能 BNP PSA)  
 ⑥水分摂取量と排尿日誌(おしっこの家計簿) ⑦排尿問診票(IPSS)



**治療** 前立腺肥大症治療薬 膀胱過敏改善の抗コリン剤、  
 水分摂取に関する指導、 高血圧糖尿病の改善、 利尿剤処方、  
 下肢拳上、 フットマッサージ 干渉低周波(ウロマスター)

ももたろう腎泌尿器科クリニック

## 腎臓結石 尿管結石 検査と治療方針



腎臓で形成された結石が尿管へ移動し陥頓により、尿流が塞ぎ止められるため、  
 疼痛が発生します。

**検査** 尿検査 超音波検査 腹部CT  
 鑑別疾患に 動脈瘤 膵炎 腎梗塞があり慎重な判断が必要です。

**治療** ※8mm以下大 自然排石治療可能性あり 内服加療(排石促進剤 鎮痛剤 疼痛剤)を行い経過観察します。

※10mm以上大 排石治療の可能性が乏しいため、体外衝撃波破砕術、  
 内視鏡下砕石術 連携病院へご紹介いたします。

◎尿路感染が合併している場合、 感染が重篤になることがあり、抗生剤投与を必要とします。

◎腎臓結石の溶解療法 尿pHが酸性の場合には内服加療でアルカリ化させます。  
 その他、クランベリージュースが有効との報告あり。 ビーナッツ チョコレート には蔞酸成分が多く、蔞酸カルシウム結石生成を助長させます。

